

# ほのぼの

第56号

令和4年1月1日発行  
四街道中学校地区  
社会福祉協議会  
TEL 070-1537-5827

## 新年のご挨拶

四街道中学校地区社会福祉協議会 会長 塚本勝邦

地域の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃から四街道中学校地区社会福祉協議会に対しまして、暖かいご支援ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス禍の影響が、一時より少し落ち着いてきたように見えますが新たにオミクロン株の登場で、気を許すことはできません。しかしながら、検温、マスク、手洗い、換気 避密集の新生活様式を踏まえることで、催しものの開催が可能であることが

見えてきました。対策準備を整えて、各種事業の開催を通し、住みやすい福祉のまちづくりに皆さまとともに取り組んでまいり所存であります。

地域の皆様には暖かいご支援と地域福祉推進にご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本年が皆さまにとりまして、幸多い年になりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



## 福祉功労者表彰される

令和3年11月25日(木)四街道市文化センターにおいて、「令和3年度四街道市福祉功労者表彰式」が開催されました。四中地区社協関係では、永年にわたり社会福祉に尽力された会長表彰で3名、会長表彰を受賞されたのち、更に社会福祉に尽力された特別表彰で7名の方が表彰されました。受賞者の方々は表の通りです。

### 会長表彰受賞者

佐藤 和枝

西本 美知子

湯本 賢朗

### 特別功労賞受賞者

中台 良男

小胎 清美

有川 良子

塚本 勝邦

常盤 初枝

櫻井 知可子

三村 好江

(敬称略)

### 受賞者の声 小胎清美さん

今回表彰頂きありがとうございます。私が長い間、ボランティアとして活動できたのも一緒に活動した皆さんのおかげと思います。

これからも体力、気力がある限り少しでも長く続けていきたいと思っています。今後ともよろしく願います。



会長表彰受賞者の皆さま

### 受賞者の声 有川良子さん

表彰式には不参加と思っていましたが、参加してみると皆様 大先輩ばかりで、それも大変お元気に活躍されている方々でした。

保健推進員をいつ辞めようと考えていた私でしたがもう少し頑張らないと大変励みになりました。有難うございました。



特別功労賞受賞者の皆さま

## 避難所の開設・運営訓練を実施！！

### ◎感染症等の対応で、 規模を縮小、内容は充実

11月21日(日)に和良比小で実施しました。年1回開催で8回目ですが、昨年に引き続き、感染症等の対策のため、参加者を制限し、時間も短縮しました。

該当8つの区・自治会会員の避難者としての参加は見送り、役員・班員、会員ボランティア、市の関係者、来賓の佐渡市長、見学者等で計100名の参加者になりました。

参加者全員が、消毒・マスク等の対策を実践し、発熱者と一般避難者区分の実施、自宅療養感染者・濃厚接触者の待機対応、屋内テント設置やランタンの体験、段ボール間仕切り・ベッドの展示などを行いました。



テント張り体験中

### ◎市主催の四街道市防災訓練 へのつなぎとして

令和4年1月23日(日)に、市主催の地震災害に対応した防災訓練が和良比小で実施されます。市内の区・自治会86の代表が参加し、今回の和良比小避難所訓練を基にした内容を体験する予定になっています。

(記/和良比小避難所運営委員会 阿部 欽三)

## 成年後見制度を知っていますか？

四中地区社協では、理事・評議員の皆さん30名が参加して「成年後見制度について」の研修会を11月28日(日)に行いました。講師は、市内で「NPO法人市民後見センターほっと」を運営する理事長の井上博司様をお迎えしました。

この制度は、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で、判断力が不十分な人の権利を守るために創設された国の制度です。また、契約行為が必要な時、一人で出来るか心配な方や財産の管理処分に援助が必要な方、日常の買い物が自分で出来ず、判断が必要な行為は常に誰かに代わってもらわなければならない方が利用するものです。

この制度を利用しようと思ったら、市役所の担当課、地域包括支援センター、社会福祉



熱心に聞き入る研修会の様子

協議会などに相談することをお勧めします。高齢化が進む中、いつこのような制度を必要とするかわからないご時世ですから、この度詳しく学習することが出来たことは地域の見守りにも活かすことが出来、大変有益な研修でした。

(記/高齢者部会 調 知博)

## こんにちは！ 民生委員・児童委員です ⑬

みなさんの地域には必ず担当の民生委員・児童委員がいます。また各小学校区には子どもに関する相談・支援を行う主任児童委員がいます。長引くコロナ禍にあって、人と人のつながりやふれ合いが少なく単調な日々が続いている今こそ、思いやりや支え合いが大切です。私たちは、みなさんが明るく元気に過ごすことができるように微力ながら日々活動しています。いつでもお気軽にひとこと声をかけてください。

### 私たちはこんな活動をしています



#### 相談できます

- ・高齢になり一人暮らしで心配なこと
- ・福祉サービスを利用したい
- ・子育ての悩みを聞いてほしい
- ・経済的な不安
- ・ご近所の気になること
- ・〇〇はどこに相談したらいいの？



#### 見守ります

- ・高齢者世帯、一人暮らしの方
- ・同居でも日中は高齢者だけの世帯
- ・障がいのある方
- ・子どものいる世帯
- ・ひとり親家庭（母子・父子家庭）
- ・生活に不安のある世帯



#### 地域活動の参加

- ・子育てサロン、高齢者サロン、友愛訪問、高齢者見守り活動など
- ・子どもを見守る活動や安全パトロール活動など
- ・学校や地域行事への参加
- ・子ども向け行事・事業への協力



#### つながります

- 心配ごとや困りごとの解決に向けて専門機関へつながります。
- ・市役所
  - ・地域包括支援センター
  - ・くらしサポートセンター
  - ・障害者相談支援事業所
  - ・児童相談所
  - ・社会福祉協議会
  - ・自治会
  - ・学校



民生委員・児童委員には法に基づく守秘義務がありますので、相談内容は守られます。安心してご相談ください。

（記／民生・児童委員 晝間 初枝）

## 6 地区事務員研修会に参加して



わろうべの里で  
執務中の小山さん

わろうべの里ボランティアキャンプで四中地区社協の事務を担当させていただいて3年になります。

11月5日(金)に初めて6地区事務員研修会が福祉センターにて開催されました。市社協事務局の方4名、私達地区事務員3名の参加でした。

自己紹介から始まり、活動内容分け・情報交換・日頃の疑問点等も含め、改めて再認識する事が出来ました。

コロナ感染拡大が収束の傾向にある中、少しずつ動き出す事が出来て良かったと思います。地区社協活動が今後も円滑に行える様、微力ながら活動のサポートをさせて頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。  
(記/四中地区社協事務局 小山 幸恵)

## ご寄付ありがとうございました(令和3年1月~12月15日迄)

四中地区社協の活動をご支援くださりありがとうございます。地域福祉活動に活用させていただきます。今後ともご支援・ご協力よろしくお願ひします。

ご寄付内訳(順不同、敬称略)

現金：匿名	100,000円
赤電話募金箱	20円
合計	100,020円

物品：匿名 米 30kg 文具一式

\*寄付は所得税控除の対象になります。これからも皆様のご支援ご協力をお願いします。詳しくは四中地区社協事務局まで問い合わせください。TEL 070-1537-5827



## 四中地区社協の事業予定(1月~3月)



事業名	月日	場所
友愛訪問	2月中旬~下旬	民生委員が見守り対象者宅訪問
ふれあい交流会	3月6日(日)	わろうべの里
ウォーキング交流会	3月26日(土)	市内
理事会	3月20日(日)	わろうべの里

上記の他、ほのぼのサロン2021は毎月第1・3月曜日、ふれ愛サロン2021は毎月第2・4金曜日、みのりサロン2021は毎月第2・4月曜日に開催しています。

### 編集後記

コロナウイルスの変異株は、2020年にイギリスで最初に発見されたアルファ株から始まって、南アフリカで発見されたベータ株、ブラジルでのガンマ株、強力な感染力のデルタ株、そして今度は南アフリカからのオミクロン株へと激しく変異し、ワクチン接種の期待効果にも黄色信号が灯っています。変異する度に感染力・重症化傾向の程度も後遺症の影響も増しているそうです。一日も早く以前の普通の生活が戻ってくるよう神仏に祈るしか手がないのでしょうか? (記/志)